

平成二十六年卒業式

高校第六十七回の卒業式は、平成二十七年三月三日に行われ、二百六十六名の若鳩が母校を後に、大空へ飛び立つて行った。

卒業式において塩野英雄校長は、四年前の大震災の被災地石巻訪問の際の「復興するぞ！」という文言の書かれた大地から受けた『感銘』や『心意気』に触れ、続いて目を世界に向けての重要性を説

くとともに、中国の北宋の文人・政治家の王安石の言葉を引用しながら二十一世紀型の文化・文明の創造に寄与せよと述べた。更にまとめとして、学びのコミュニケーションとして飛躍する母校からの巣立ちを、高村光太郎の詩『道程』に重ね、新たな「学びへの旅立ち」を祝した。

続いて赤地憲一同窓会長は、高校時代までの評価と社

平成二十七年入学式

高校の部は内進生八十名含む二八二名が入学

「創造の場であれ！」
平成二十七年度の入学式は四月七日に挙行され、附属中学校への入学生八十名、高等学校への入学生二百八十二名が晴れて「鳩が丘」の一員となった。

入学式では塩野英雄校長は「自分探しの始まり」という

附属中学初の卒業式挙行之る

平成二十六年年度の附属中学第一期生の卒業式が、平成二十七年三月十九日（木）十三時三十分から春雨のけふる中挙行された。

長野県初の中高一貫の中学校の一期生であるがゆえに、常にフロンティアとして注目され続けてきた卒業生に対して、塩野校長は「単なる知識の集積に留まらない学び、生きるために必要な学び、幅広く奥深い人間になるための学び、知徳体バランスのとれた学び、人間味のある骨太の若人へと成長していくための学び、を高校でさらに深めてくれることを期待する」と述べた。赤地同窓会長は全て英語で語りかけ、次の三つのことを心掛けてほしい、と述べた。

①人生の先輩（家族や先生）を大切にせよ。②友達とのコ



26年度 附属中学第一期生卒業式

会に出てからの評価との違いに思いを致せ、と説き、六つの力①全ては「意欲」に支えらるる。②「先輩から可愛がられる力」。③「対人折衝能力」。④「自己修正能力」。⑤「自然への観察力（謙虚な歩み）」。

⑥「豊かな学びの力」の必要性を挙げながら「社会に出てから大切なのは応用力」とやさしく諭す言葉を贈った。これで卒業生の総数は二万三千九百九十二名となった。

というフレーズにある」とし、それを第53回卒業東京藝術大学出身のテノール歌手丸山皓二氏の歌唱に続いて新入生全員に歌わせた。出席した生徒や保護者の方々からは「感激した」という声が上がった。こうして今年度の式は前例のない心温まる入学式となった。

伝統を受け継ぎ、先輩たちに続け、と励む雛鳩・若鳩たちの、中学・高校生活が充実したものであることを祈りたい。

同期会・支部総会

鳩九会（東京）同期会

還暦を迎える年から江戸詰め同期の集まりをスタートさせて喜寿を迎える今日まで継続してきました。毎年一月、最終土曜日（今年は二十四日）の昼、二十名前後が青山に集まり、無事に過ぎた一年に感謝し近況を伝え合い、坊主頭の白線帽の昔話に時を忘れて過ごし、お互いの健康を祈念してまた翌年の再会を期して別れ行く、ということを重ねています。今後とも多くの九回生が国元からも元気に参加して下さることを願っております。

ホームカミング鳩会報告

高校四回・併中二回同期会 幹事 宮坂 力

期日：平成二十七年五月十日（土）
場所：ホテル圓山荘
参加：二十五名

恩師関文男先生、赤地憲一同窓会長をお迎えして開催しました。八十歳を超え足腰の衰えが目立つ諸兄ですが、気力はまだまだ充分です。

関先生からは六十数年前の思い出話を交えたご祝辞を頂きました。赤地会長からはホームカミング鳩会の趣旨のご説明と、「同窓会館」の建設事業は土地買収の予算が三月県会で承認され、確実に前進している旨のご説明を受け、併せてご祝辞を頂戴しました。

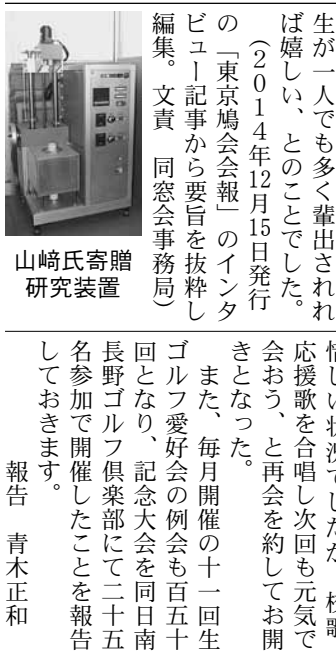
欠席の返信の中で目立ったのが病氣や入院中で外出が困難といったものでした。

こんな便りもありました。「屋代での学校生活は少年期に続け、と励む雛鳩・若鳩たちの、中学・高校生活が充実したものであることを祈りたい。」

山崎裕一氏（高9）「新素材開発の研究装置」を寄贈

母校がSSH校に指定された時から何かお手伝いしたいと考えており、次代を背負う若い研究者を育成するには高校時代から素材開発に興味を抱いてもらいたいとの思いから研究用装置を寄贈した、とのこと。装置名は「単結晶引上げ装置」。母校はSSHで好成绩を生み出しているとのことでもあり、今後新分野を展開して本装置が活用され、新素材開発に興味を持った学生が一人でも多く輩出されれば嬉しい、とのことでした。

（2014年12月15日発行の「東京鳩会会報」のインタビュー記事から要旨を抜粋し編集。文責 同窓会事務局）



山崎氏寄贈 研究装置

から青年期に及び、よき師、よき友に囲まれ楽しい六年間、つたことは非常に珍しい良い経験でした。一孫が今春屋代高校に入学しました。小生の後輩だと云ったら驚いていました。」

昔の友人との思い出話に楽しい一夜を過ごしました。校歌、応援歌を皆んなで歌い、次回の同期会での再会を約して散会しました。



高校4回・併中2回同期会

県庁鳩会

会長 町田秀俊（高28）

期日：平成二十七年二月十八日（水）
場所：ホテル信濃路
参加：二十五名

二月県会開催日に平成二十六年年度の総会と、赤地同窓会長はじめ同窓会役員の皆様、県議員の皆様を来賓として懇親会を開催しました。

県庁鳩会は、屋代高校出身の県職員二百二十五名のうち、県庁及び長野市内の現地機関に勤務する百五十四人と、同じく屋代高校出身の県警職員九十二名のうち、県警本部勤務の二十八人で組織されており、百八十二人の会員が所属しています。懇親会の参加者が増えないのが悩みの種ですが、少数精鋭のメンバーで学年や部署を越えた交流を図ることが出来ました。最後に母校と県庁鳩会の発展を祈って校歌を斉唱し、団結を深めました。

報告 竹内徹（高39）

高十一回生同期会

五月十四日、ホテルメトロポリタン長野にて開催。恩師宮本久吉先生をお迎えし、同窓生四十六名が参加。今年は後期高齢者の仲間入りの年。しかしながら皆元気活潑、大いに飲み、語り合い旧交を温めた。

会は大変盛り上がり、名残惜しい状況でしたが、校歌、応援歌を合唱し次回も元気で会おう、と再会を約してお開きとなった。

また、毎月開催の十一回生ゴルフ愛好会の例会も百五十回となり、記念大会を同日南長野ゴルフ倶楽部にて二十五名参加で開催したことを報告しておきます。

報告 青木正和

第三十一回東京鳩会
支部長 柿崎正義（高9）

期日：平成二十七年二月二十八日（土）
場所：銀座東武ホテル
参加：八十一名

平成二十六年度東京鳩会総会は、来賓に赤地同窓会長、柳澤副会長、塩野学校長をお迎えし、高校1回から60回まで幅広い同窓生が参加し開催されました。

赤地会長、塩野学校長から、母校の近況等について貴重なお話を伺ったほか、今回はトランペット奏者の渡邊優さん



西寺尾支部

（57回）を中心としたカルテットの演奏を楽しみながら、一年ぶりの再会を喜び合い、校歌、応援歌を合唱して世代を超えて母校での青春の記憶に胸を熱くするひとときを過ごしました。東京鳩会では会員の高齢化を受けて、首都圏在住の若手同窓生の積極的な参加を求め活動していくこととしていきます。

報告 伊東博道（高20）

西寺尾支部
支部長 池田慶順（高9）

期日：平成二十七年三月十四日（土）
場所：西寺尾公民館
参加：十名

本会より栗林副会長を迎え、西寺尾支部総会が西寺尾公民館で開催されました。池田支部長の挨拶の後、事務局からの連絡が行われ、栗林副会長より同窓会館建設計画や屋代高校及び附属中学の現状をお話いただいた。

その後懇親会に入り、高校時代の昔話や、今の高校生との違い及び伝統等についていろいろな話題で盛り上がりました。本会からのご祝儀や今までの蓄え等もあり、お酒やお料理も十分いただきました。この総会は隔年で行われていますが、次回からは若い人達もお誘いしたいと考えています。

報告 畑 彰義（高19）



東福寺支部

東福寺支部
支部長 宮尾保雄（高7）

期日：平成二十七年四月十一日（土）
場所：東部合同庁舎
参加：八名

本会より赤地会長のご出席を戴き開催。出席者は八名。最近では最も少ない人数で残念でしたが、これも翌日（十二日）の県議選の影響とも思われ納得。しかし、会長からよい話を承り、花見をしながら本会によい会合でした。同窓会館建設は、早急に達成しなければならぬ課題だと誓いを新たにしつつ会を閉じました。

報告 宮尾保雄

信更支部
支部長 田中 健（高6）

期日：平成二十七年三月二十六日（木）
場所：戸倉上山田温泉 菊水
参加：七名

本会から副会長の高山さん、事務局担当の新津さんを迎え、戸倉上山田温泉で一泊二日の支部総会を開催しました。本会より現況報告を詳細にしていたら、その後支部の現況について話し合い、最後に役員が改選されました。懇親会は飲み放題とあって、参加者数の割には飲量がよく幹事を心配させたようです。御仕舞いに校歌のみならず、応援歌を全曲合唱し散会しました。

報告 石坂袈裟好（高12）



信更支部

塩崎支部

支部長 柳原義正(高11)
期日：平成二十七年
四月二十六日(日)

場所：稲荷山温泉 杏泉閣
参加：十九名

本会から赤地会長をお迎えし、塩崎支部の総会が賑々しく開催され、二十六年度の活動報告、会計報告等が承認された。赤地会長からは、同窓会館の建設や中高一貫校の状況など当面する課題についてお話をいただいた。

総会に引き続き、記念写真の撮影と校歌の合唱が行われ盛大な懇親会となった。
報告 柳原義正



塩崎支部

植生支部

支部長 宮坂仁三(高16)
期日：平成二十七年
五月九日(土)

場所：植生公民館
参加：十四名

本会から赤地会長のご出席をいただき、同窓会館建設に向けての報告をお聞きした後総会となりました。支部の活動報告、会計報告に続いて役員改選が承認され、総会は滞りなく終了しました。

総会後の懇親会では、普段はなかなか会うことのない同窓の仲間達が懐かしい思い出話に花を咲かせ、時の経つのを忘れるほどでした。最後は新支部長の下、同窓会の益々の発展を願って高らかに万歳を三唱してお開きとなりました。

稲荷山支部

支部長 山崎敏男(高9)
期日：平成二十七年
五月二十三日(土)

本会より吉川副会長をお迎えし平成二十七年の支部総会を開催しました。総会では各議案が承認され特に役員改選では討論の結果留任と決まりました。

稲荷山温泉 杏泉閣

参加：十五名
本会より吉川副会長をお迎えし平成二十七年の支部総会を開催しました。総会では各議案が承認され特に役員改選では討論の結果留任と決まりました。

本会定期総会の中では、附属中学一期生が今年度高校に入学して完全に中高一貫校となり、生徒職員合わせて千三百名に近い大規模の母校となった旨の報告がなされた。又同窓会館建設に向けての現況報告等を吉川副会長より詳しくご説明いただいた。

会員相互の近況を語りながら和気藹々の中親睦を図りました。最後に母校の発展と会員各位の健康・活躍を祈りつつ校歌を高らかに合唱し散会しました。報告 山崎敏男



稲荷山支部

川柳支部

支部長 田中真雄(高11)
期日：平成二十七年
六月二十一日(日)

場所：篠ノ井サトウ会館
参加：十五名

同窓会本会より新津副会長をお迎えし、また望月長野市長を来賓として迎えて、川柳支部総会を開催しました。副会長からは本会と母校の現況について以下のような報告がありました。

・会員の把握と会費納入の協力要請
・同窓会館の建設予定と資金集めの協力要請
・附属中学で初めての卒業生80名が全員屋代高校に進学したこと

その後協議に入り、支部の事業報告・会計報告を行い懇親会に入りました。懇親会で

は年齢の差を越えて大いに親睦を深め、校歌の斉唱と万歳三唱を行い楽しいひとときを過ごすことができました。
報告 田中真雄



川柳支部

ゴルフコンペ

鳩12回ゴルフ同好会
幹事 小林嘉征(高12)

高校12回卒(昭和35年卒)のゴルフ好きが、定年後の一度目の勤めが終わった平成十七年に同好会を発足させた。以後毎年春と秋の年二回のコンペを原則に現在二十人、春は南長野ゴルフ倶楽部、秋は長野カントリーにて開催。時には県外、海外でもコンペをやり、和気あふいと健康維持を一番に親睦を深めております。平成二十七年は、発足十年を迎え、更に健康に



鳩12回ゴルフ同好会
平成26年10月28日 長野カントリーにて

第25回鳩十六会(はとわか)ゴルフコンペ

期日：平成二十七年
五月十四日(木)
場所：長野京急CC
参加：九名

優勝者 荒井駿
準優勝者 鎌倉法弘
※高16回生の集まりです。年三回開催。



鳩十六会ゴルフコンペ

特別寄稿

「困難も豊かな人生への礎」を体感す

同窓会顧問 矢島忠和(中22回)

冒頭の言葉は前号に掲載された赤地会長のメッセージの一節です。私事ですが、三月に千曲中央病院に入院した折の辛い闘病経験から得た思いを記します。

一つの臓器の機能が作用しなくなると、外部の部品がその機能を果たしてくれなければなりません。その時自分の身体を組み立てていた生命のシステムの不思議さを強く認識し、今迄当然と感じていたことが、現在まで身体を支えてくれていた各部品である臓器に自然と感謝の念が湧いてきました。

即ち、自分が自分自身に感謝し、同時に医師・看護師の方々

会員計報(敬称略)

平成27年6月30日現在
謹んで哀悼の意を捧げます。

- 井上 哲男(中8) 平成13年3月
西澤 悦宏(高4) 平成19年1月3日
西澤 隆司(高4) 平成24年5月8日
竹内 邦明(高15) 平成24年11月3日
塩入 正夫(高9) 平成25年2月26日
小林 勇雄(高4) 平成25年5月10日
工藤 進一(中8) 平成25年6月27日
荒井 弘(中8) 平成25年7月
徳永 貞男(中18-5) 平成25年11月19日
吉池 功(中7) 平成26年1月23日
上原 英男(高1) 平成26年9月5日
宮沢 淑夫(高15) 平成26年10月20日
丸山今朝二(高17) 平成26年10月25日
塩野入 廣(高3) 平成26年11月11日
田中 茂(高7) 平成26年11月16日
長谷川正視(高1) 平成26年11月18日
長門 純(中16) 平成26年11月19日
沖浦 素夫(中18-4) 平成26年11月23日
橋本 光広(中15) 平成26年12月22日
神谷 勝(高4) 平成26年12月27日
秦 叡(高2) 平成27年1月7日
伊東 盛家(高18) 平成27年1月9日
千野 英俊(高14) 平成27年1月18日
中山 寛(中18-4) 平成27年1月31日
荒川 鉄雄(高4) 平成27年2月17日
田中 進(高12) 平成27年2月21日
相澤 岩雄(中9) 平成27年3月10日
荒井 嘉三(中21) 平成27年3月15日

- 宮下 卓(高7) 平成27年3月23日
越 長治(中18-5) 平成27年3月27日
久保田英雄(高9) 平成27年4月2日
滝澤 公男(高2) 平成27年4月5日
宮川 康雄(高1) 平成27年4月24日
天野 博(高4) 平成27年5月8日
小林 悦男(中13) 平成27年5月8日
飯島 欣治(中16) 平成27年5月16日
北村 信久(高4) 平成27年5月25日
竹内 正一(中18-5) 平成27年6月8日
佐藤 佳彦(高11) 平成27年6月8日
寺澤 政男(中22) 平成27年6月14日

春の叙勲受章者

次の方が二〇一五年春、受章の栄に浴されました。誠にめでとうございます。
瑞宝小綬章
町田巻雄様(高7回) 長野市西尾張部
旭日双光章
滝沢英雄様(高7回) 千曲市屋代
旭日双光章
宮崎利幸様(高9回) 長野市篠ノ井塩崎

案内

第12回屋高フオーラム
期日：9月26日(土)午後一時
会場：千曲市あんずホール
講師
①國枝昌樹氏
(前シリア大使)「イスラム
国の正体と日本外交」
②舟山 幸氏

訂正
★前号(62号)の「ホームカミング鳩会」の予定の中で、第45回生の年齢を39歳と記しましたが、正しくは41歳でし

26年度末 人事異動(屋代高等学校・附属中学校)(敬称略)

Table with columns for '転出(異動)・退職者' and '転入(異動)者'. It lists staff changes including names, positions, and departments.

鳩の目

「奇跡の教室」(伊藤氏貴著)は灘中学・高校の国語教師を五十年に亘って勤めた橋本武の事跡をまとめたものだ。橋本は中学部三年間の授業者、文庫本「銀の匙」(中助著)一冊で通した。教子の一入畑中邦夫(前ルワンダ特命全権大使)は言う。「海外に出てわかったことは、『何を話せるか』ではなく、『何を話せるか』だ。その核を中学三年間の橋本先生の授業から学んだ」と。教育というものの意味が見える言葉だ。

屋代高校でも、附属中学校でも学ぶことの主旨は「何かを語り得る自分作り」だろうか。自分から学び、哲学しなれば「自分」は育たない。伝統はその上に築かれる。
初夏の時の尖れる自習室
編集委員 徳嵩 芳夫(高19)
吉川 正徳(高22)
宮原 一治(高25)
中津佳津恵(高47)